

平成21年9月30日

各 位

上場会社名 児玉化学工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 石井 健
 (コード番号 4222)
 問合せ先責任者 経理部長 小林 亜夫
 (TEL 03-3834-0511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,740	70	△20	△28	△0.93
今回発表予想(B)	6,500	△370	△360	△450	△15.00
増減額(B-A)	△1,240	△440	△340	△422	
増減率(%)	△16.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	9,509	153	74	94	3.14

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,100	530	400	250	8.33
今回発表予想(B)	14,520	△200	△210	△370	△12.33
増減額(B-A)	△2,580	△730	△610	△620	
増減率(%)	△15.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	17,052	14	△206	△1,080	△35.98

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,420	△35	△75	△80	△2.66
今回発表予想(B)	4,550	△430	△420	△460	△15.33
増減額(B-A)	△870	△395	△345	△380	
増減率(%)	△16.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,118	△192	△182	△89	△2.98

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,300	245	250	235	7.83
今回発表予想(B)	10,340	△420	△320	△360	△12.00
増減額(B-A)	△1,960	△665	△570	△595	
増減率(%)	△15.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	11,607	△511	△498	△1,996	△66.49

修正の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、自動車業界・住宅設備業界において内外の在庫調整に進展は見られるものの、依然として世界経済の減速感は根強く、企業収益、設備投資や雇用情勢等は引き続き不透明な状態で推移しております。

このような事業環境下、当社グループは、経営資源の集中化を図り、生産効率化によるコスト削減に努めてまいりましたが、売上高が予想を大きく下回る見込みであり、厳しい状況が続いております。また、利益面につきましては、コスト削減を進めるも、売上高の減少による影響が大きく、営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を下回る見込みであります。

通期業績につきましては、自動車業界でエコカーなど一部に明るい兆しは見えてきておりますが、9月に操業を開始した西湘工場のフル操業には程遠く償却費負担増も加わり、引き続き厳しい事業環境下が続くと想定されていることから、第2

四半期連結累計期間の売上高等の減少を第3四半期及び第4四半期連結累計期間にてカバーすることは困難であると見込んでおります。

以上の理由により、平成22年3月期第2四半期連結累計期間並びに平成22年3月期通期の連結・個別業績予想を修正致します。

(注)本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上